

2023 年度 放課後等デイサービス 事業報告
(WakuWaku あゆみ)

施設長 戸田拓郎

前年度から行ってきた増築工事が6月末に完成し、7月より活動拠点を新棟に移し、事業所名を『サポートシステムあゆみ』から『WakuWaku あゆみ』に変更した。また同時に職員の負担軽減と人材確保を目的に、帰りの送迎時間を18時から17時30分に変更した。

移転に向けて建物の完成後、数回利用者で見学する等して慣れていけるようにした事もあり、7月から混乱もなく新しい場所で活動できている。広々とした活動室でこれまで以上に児童がのびのびと遊べるようになり、また移転前と同じく2部屋の個室もある為、児童の状況によって休憩や個別活動に活用でき、安心して過ごせる良さも維持できている。

〈職員体制〉

年度初めより、これまで一体的に行ってきたサポート事業と基本的に分離し、児童分野に特化して取り組むようにした。一部の職員はサポート事業と兼務する等、事業間での連携・協力を継続している。

〈活動内容〉

新型コロナウイルスの感染状況が落ち着いてきた事を受けて、外出を中心とした土曜日の活動を再開した。月1回から始め、定着してきた年度後半は月2~3回実施した。

他の曜日も従来の曜日別活動をベースにして、外出を多くしたり利用者同士の関わる機会を増やしたりして、コロナ禍で限定的になっていた活動の幅を少しずつ広げて実施した。

〈家族支援〉

2月に初めて家族の交流会「ファミリー交流カフェタイム」を実施した。9家族19名の参加があり、家族同士や職員との交流を深められ、また事業所の事をより知って頂く機会となった。事後アンケートでも好評を頂いた。

〈地域連携〉

奈良市障がい児通所支援連絡協議会への参加を継続して他事業所との情報共有を行い、事業所見学会や研修会にも参加し、支援の質の向上に努めた。

〈利用者数〉

卒業生5名に対して新入生が2名と少なかった事、健康面や学校の時間等の事情から数名の利用者が長期の休みになった事、土曜日の利用者数がまだ少ない事もあり、平均利用者数は前年度よりも約1.1人下回った。土曜日の利用者数は年度後半、徐々に増えつつある。年度途中で新規の利用者を計7名受け入れた。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
契約人数	38	39	39	39	40	40	41	41	43	43	45	45	
営業日数	21	21	23	21	21	21	22	22	22	20	21	23	258
延べ回数	221	217	210	221	232	202	208	207	219	202	210	258	2607
1日平均	10.5	10.3	9.1	10.5	11.0	9.6	9.5	9.4	10.0	10.1	10.0	11.2	10.1